

Dive into data and UX
With Beusable

All-in-One
Data Analytics Tool

ビューザブルのページ登録ガイド

2020-06-10

株式会社 ビューザブル
support@beusable.co.jp

目次

1. 準備する
2. ページ登録
 - 2.1. ページ登録の画面構成
 - 2.2. 分析ページの設定(必須)
 - 2.3. グループおよびページ名の設定(必須)
 - 2.4. 詳細設定(オプション)
 - 2.5. 分析画面のプレビュー(オプション)
 - 2.6. ページ登録完了

1. 準備する

- ビューザブルのホームページにアクセスする
- ログインする
- ダッシュボードで「ページ登録」をクリックする

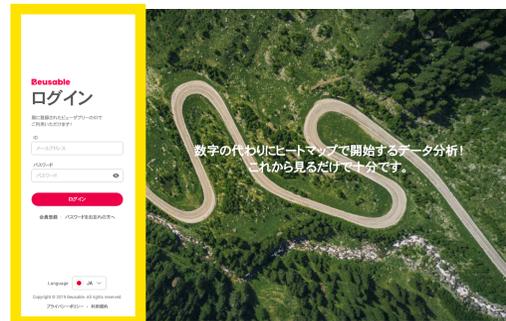
1. 準備する

- ① ユーザーホームページ右上「Sign In」クリック → ② IDと Password 入力後「ログイン」クリック → ③ ダッシュボード画面から「ページ登録」クリック



STEP 01

ホームページ右上「Sign In」クリック



STEP 02

IDとPassword入力、「ログイン」クリック



STEP 03

ダッシュボード画面「ページ登録」クリック

2. ページ登録

- ページ登録の画面構成
- 分析ページの設定(必須)
- グループおよびページ名の設定(必須)
- 詳細設定(オプション)
- 分析画面のプレビュー(オプション)

2.1. ページ登録の画面構成

2. ページ登録 > ページ登録の画面構成

ページ登録の設定

ページ登録に必要な設定を入力する箇所です。

一覧ボタン

クリックすると、ダッシュボードへ移動し、登録されたページの一覧を確認できます。

プロセス・バー

ページ登録について進行状況が表示されます。

ページ登録ガイド

ユーザーが進行しているページ登録段階についてご案内します。

登録ボタン

ページ登録に必要な必須欄をすべて入力すると、該当ボタンが活性化され、クリックすれば、ページ登録が可能です。

登録段階における移動ボタン

クリックすると、ページ登録に必要な段階ごとの設定の入力画面へ移動することができます。

2.2. 分析ページの設定(必須)

2. ページ登録 > 分析ページの設定(必須)

まず、分析ページの設定(必須)段階です。この段階ではURLマッチタイプ、分析対象のURL、分析に用いる画面キャプチャのイメージのURLを設定、ログイン後にアクセスが可能なページの有無、スマートフォンのみにアクセスが可能なページの有無などを設定します。



分析ページの設定

- 1 URLマッチタイプ
Exact Match
- 2 分析に用いる画面キャプチャのイメージのURLを設定しますか? はい いいえ
- 3 ログイン後にアクセスが可能なページですか? はい いいえ
- 4 スマートフォンのみにアクセスが可能なページですか? はい いいえ

分析ページの設定(必須) - グループおよびページ名の設定(必須) - 詳細設定(オプション) - 分析画面のプレビュー(オプション) - ページ登録完了

2. ページ登録 > 分析ページの設定(必須) > ① URL マッチタイプ & 分析する URL

これから分析ページの設定(必須)段階の中で、URL マッチタイプについて詳しく説明します。

URL マッチタイプは6つのタイプがあり、Exact / Simple / Starts / Ends / Contains / Regular expression Matchがあります。



Match Type	入力値	Match 対象	レポート追加提供機能
Exact	全体 URL	入力値と 100% 一致	Live Heatmap、ABテスト 設定可能、FunnelsのSession Report
Simple	全体 URL	入力値からDomain & Pathのみ一致	Live Heatmap
Starts	ドメインを含めて始まる文字列	入力値で始まる全てのURL	-
Ends	ドメイン + 終わる文字列	Domain一致 & Domain 以後の入力値で終わる全てのURL	-
Contains	ドメイン + 含める文字列	Domain一致 & Domain以後の入力値を含める全てのURL	-
Regular Expression	ドメイン + 正規表現式	Domain一致 & Domain以後の、正規表現式に該当する全てのURL	-

* Match Typeに関わらず基本提供するメニュー: Reporting Heatmaps, Analytics, Comparing Referrers, Segmenting CTA, Funnels

Tips! URLマッチ選択ガイド

Exact Match

- URL ページで発生する全ての変数を除去し、正確なURLのユーザーデータ分析が必要な場合

Simple Match

- マーケティング・広告等でURLから発生する変数を含めようとする場合
- 同じDomainとPath共有するカテゴリ全体のレイアウト分析のため、データを合わせて集計する場合

Starts Match

- パラメータで分けられる様々な商品ページをひとつのレポートで収集したい場合
(パラメータの直前までをURL登録)

Ends Match

- 特定の文字列で終わるパターンをもつ、全てのページのデータを合わせて分析したい場合

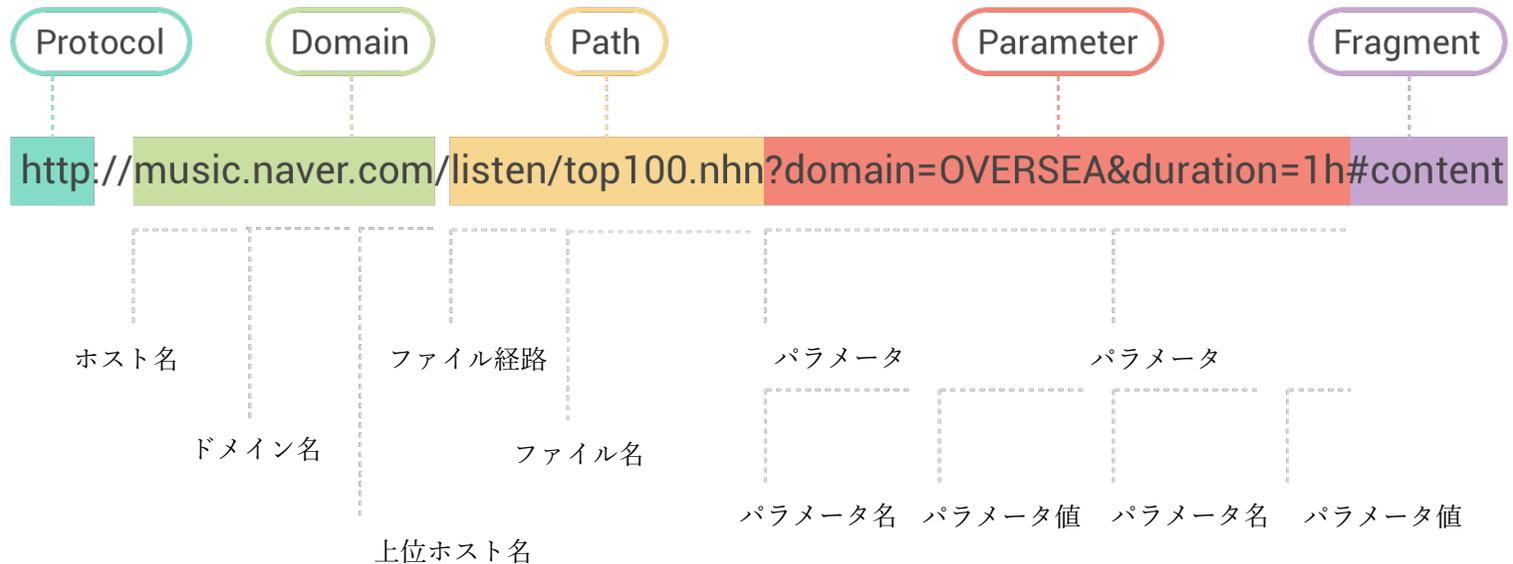
Contains Match

- 特定商品コードが存在し、各商品別全流入経路URLに対するデータを一緒に収集したい場合
(contains Textで商品コード入力)

Regular Expression

- 正規式を利用し特定の категория、Text、商品が含まれるすべてのページのデータを合わせて分析したい場合

Tips! URL 構成の理解



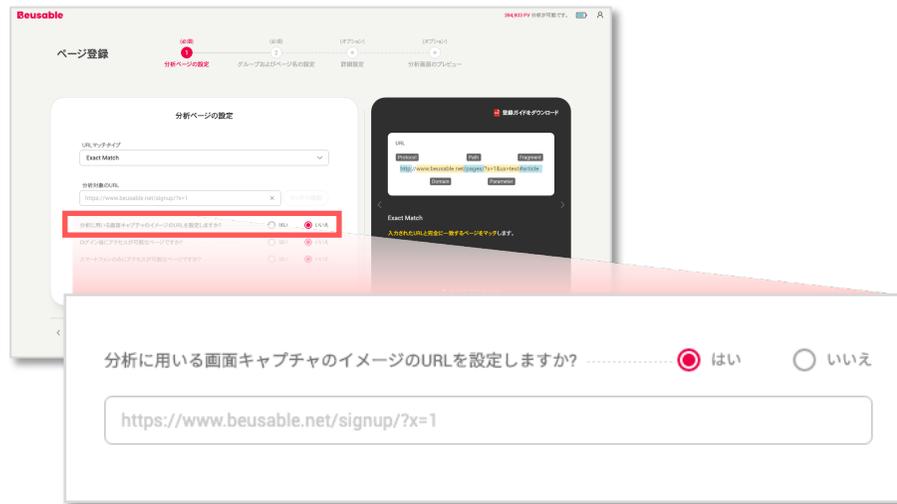
ページURLマッチを理解するためには、まずURLがどんな構造になっているか知る必要があります。
URLは一般的にhttpまたは、httpsのようなProtocol、ホスト名、ドメイン名、上位ドメイン名でなる
Domain、Path、Parameter、Fragmentで構成されています。

分析ページの設定(必須) - グループおよびページ名の設定(必須) - 詳細設定(オプション) - 分析画面のプレビュー(オプション) - ページ登録完了

2. ページ登録 > 分析ページの設定(必須) > ② キャプチャしたいイメージURL設定

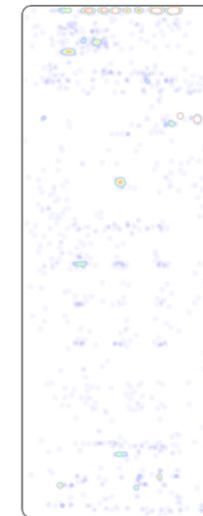
ページURL マッチ設定が完了すれば次に、「分析に用いる画面キャプチャのイメージURL設定しますか」設定について説明します。

ビューザブルのUXヒートマップは、実際の画面をキャプチャし、その上にユーザーのUXデータをヒートマップ形式で可視化して表現します。この時に使うキャプチャしたイメージが、「分析に用いる画面キャプチャのイメージ」のことです。特定のページをキャプチャし、そのイメージの上にユーザーのUXデータを表現したい場合、このオプションで該当ページのURLを入力して下さい。



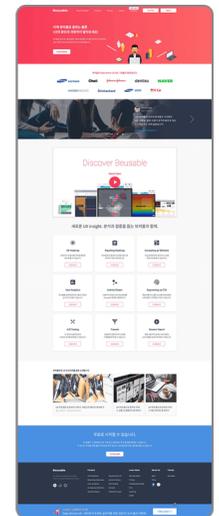
UX分析の
画面イメージ

=



ヒートマップの
イメージ

+



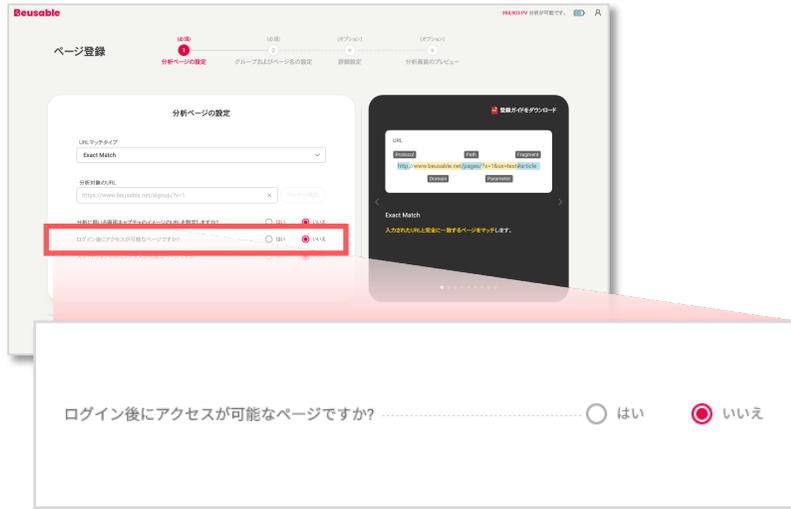
画面キャプチャ
の
イメージ

分析ページの設定(必須) - グループおよびページ名の設定(必須) - 詳細設定(オプション) - 分析画面のプレビュー(オプション) - ページ登録完了

2. ページ登録 > 分析ページの設定(必須) > ③ ログイン専用ページ

次に、「ログイン後にアクセスが可能なページですか?」について説明します。

「ログイン後にアクセスが可能なページ」は、URLだけではキャプチャできません。そのため、ログイン専用ページを選択すると、URLに接近する代わりMatchできたユーザーの画面をキャプチャイメージとして活用します。ただし、プライバシーポリシーによる注意点がありますので、ご参考にしてください。



<ログイン後のページで代替テキストの例>

注意点

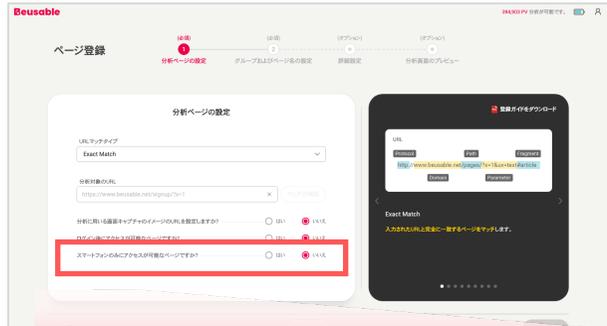
- ビューザブルはプライバシーポリシーのため「ログインが必要なページ」のTextを全て「XXX」のように置換されます。(ただしイメージのTextの場合は、対象外になります。)
- 保安上、CSSロードやイメージキャプチャが制限される恐れがあります。その場合、データ収集後のキャプチャイメージの検討が必要になります。

分析ページの設定(必須) - グループおよびページ名の設定(必須) - 詳細設定(オプション) - 分析画面のプレビュー(オプション) - ページ登録完了

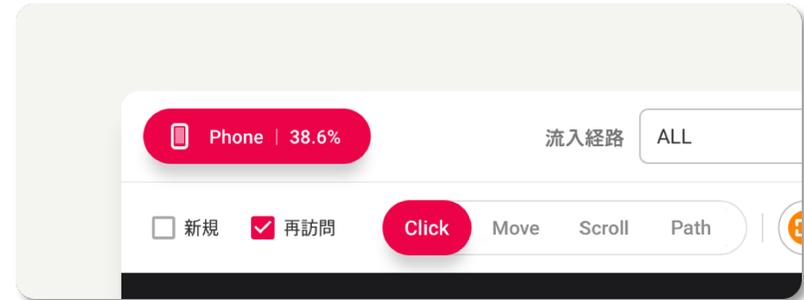
2. ページ登録 > 分析ページの設定(必須) > ④ スマートフォンのみにアクセス可能なページ

次に、「スマートフォンのみにアクセスが可能なページですか?」設定について説明します。

「スマートフォンのみにアクセスが可能なページですか?」の設定を使用する場合、分析レポートはスマートフォンユーザーのヒートマップのみを提供します。



スマートフォンのみにアクセスが可能なページですか? はい いいえ



<スマートフォンのみにアクセスが可能なページの分析レポートの例>

2.3. グループおよびページ名の設定(必須)

分析ページの設定(必須) - グループおよびページ名の設定(必須) - 詳細設定(オプション) - 分析画面のプレビュー(オプション) - ページ登録完了

2. ページ登録 > グループおよびページ名の設定(必須)

分析ページ設定(必須)を完了したら、「グループおよびページ名の設定」について説明します。

ビューザブルは分析したいページをグループ名と、ページ名設定を通して管理できます。
(グループ名を設定しなければ、基本グループ: Defaultに登録できます。)

グループおよびページ名の設定

The screenshot shows the 'Beusable' interface with a progress bar at the top. The steps are: 1. Analysis Page Setting (Completed), 2. Group and Page Name Setting (Current step), and 3. Detailed Settings (Optional). The current step is titled 'グループおよびページ名の設定' and contains two input fields: 'グループ名' (Group Name) with a dropdown menu showing 'Default', and 'ページ名' (Page Name) with a text input field containing the placeholder 'ページ名を入力してください' and a close button (X). Navigation buttons for '前へ' (Previous) and '次へ' (Next) are visible at the bottom.

グループ名

Default



ページ名

ページ名を入力してください。



2.4. 詳細設定(オプション)

2. ページ登録 > 詳細設定(オプション) > レポートの設定 > PV制限

ご利用中のプラン及び分析目的により、PV数を適切に制限できます。
分析PV設定は、制限なしを初期値に設定します。

The screenshot shows the 'Page Registration' (ページ登録) process in Beusable. The progress bar indicates that 'Report Settings' (レポートの設定) is the current step. In the 'Detailed Settings' (詳細設定) section, the 'Number of PVs to Analyze' (分析するPV数) is set to 'No Limit' (制限なし). The 'Report Settings' (レポートの設定) section also includes options for 'Analysis Period' (分析期間), 'Timezone' (タイムゾーン), 'Start Date' (開始日), and 'End Date' (終了日). A modal window on the right provides instructions for setting the 'Number of PVs to Analyze' (分析するPV数), stating that it can be limited or set to 'No Limit' based on the plan and analysis purpose.

注意点

- 制限したPV数の文を全て収集すると、レポートは自動的に分析終了になります。
- ページ登録後には設定された分析PV数を訂正することはできません。
そのため、慎重に設定して下さい。

析ページの設定(必須) - グループおよびページ名の設定(必須) - 詳細設定(オプション) - 分析画面のプレビュー(オプション) - ページ登録完了

2. ページ登録 > 詳細設定(オプション) > レポートの設定 > 期間制限

ご利用になるPlan及び分析目的に合わせて、分析期間を設定することができます。
分析期間はタイムゾーンと分析開始日/終了日の設定ができ、「即時開始～終了無し」をDefaultにしております。

注意点

- 制限したPVを全て収集し消費されれば、レポートは自動的に分析終了になります。
- タイムゾーンや収集を開始したレポートの分析開始日と、分析が終了になった終了日は、訂正できかねますので慎重に設定して下さい。

析ページの設定(必須) - グループおよびページ名の設定(必須) - 詳細設定(オプション) - 分析画面のプレビュー(オプション) - ページ登録完了

2. ページ登録 > 詳細設定(オプション) > 除外するCSSセレクタ

次は、分析したいページの詳細設定で、除外するCSSセレクタを設定する段階です。

分析ヒートマップで除外したい要素（ポップアップ、特定領域、ボタン等）を入力し、キャプチャイメージをカスタマイズできます。
キャプチャイメージから除外した要素をCSS Selectorに入力してください。

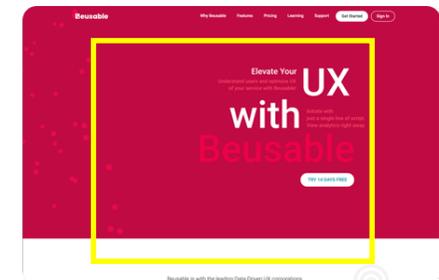


Tips!

入力した「分析画面プレビュー」段階で確認することができます。

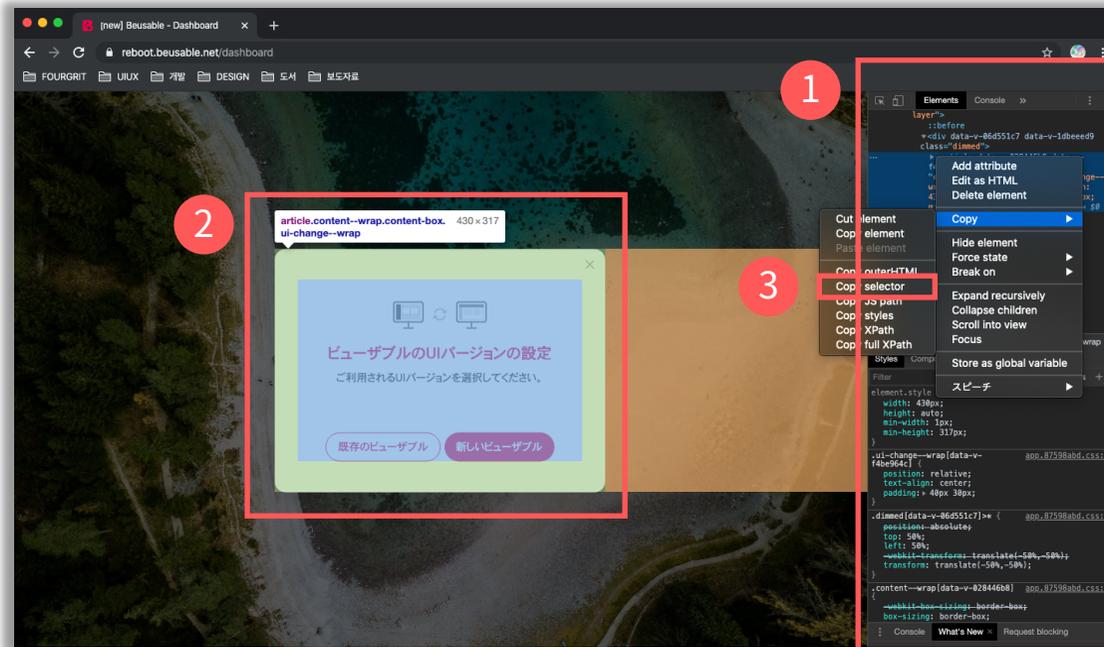
分析ページのスクリーンショットで除外するCSSセレクタを下記に入力してください。
多様な要素を除外したい場合は、区切り記号(,)を使用してください。

#popup



< 分析に用いる画面キャプチャのイメージからポップアップを除外した場合の例 >

Tips! CSS Selector 確認方法



- STEP 01** 除外したい要素があるページで開発者ツールを(①)開いてください。
- STEP 02** ‘開発者ツールから、除外したい領域をディレクター(Click, ②)してください。
- STEP 03** ディレクターされた領域でマウス右クリックを通して「Copy Selector(③)」をクリックし、除外したいCSS Selector抽出が完了します。

2.5. 分析画面のプレビュー(オプション)

析ページの設定(必須) - グループおよびページ名の設定(必須) - 詳細設定(オプション) - 分析画面のプレビュー(オプション) - ページ登録完了

2. ページ登録 > 分析画面のプレビュー(オプション)

次は、分析画面のプレビュー(オプション)です。

前段階でユーザーが入力した数値をベースにして、現時点での分析画面をあらかじめ確認できます。
PVを消費しなくても、分析画面のプレビューがユーザーが意図した分析画面と一致しているかどうかを、確認できます。



注意事項

入力したURLや(または、キャプチャするURL)、スマホ専用の除外したいCSS Selector 基準で、現時点の分析画面を撮影します。

入力した値だけでURL接続が不可能なStarts, Ends, Contains, Regular Expression Match Typeや、ログイン後アクセス可能なページは該当機能が制限されます。



<分析画面プレビュー例>

2.6. ページ登録完了

2. ページ登録 > ページ登録完了

ページ登録するための必須入力段階である「分析ページの設定(必須)」と「グループ及びページ名の設定(必須)」が完了すると、ページを登録することができます。

「登録」 ボタンをクリックすると、ページ登録完了およびトラッキングコードの設置ご案内が表示されます。



ページ登録が完了しました!

データ分析はトラッキングコードの設置が完了すると、分析が可能です。
トラッキングコードの設置を完了した後に、データ分析を開始してください!

トラッキングコードの設置ご案内

UXを分析したいページの</body>タグの前に下記のJavaScriptコードを挿入してください!

Tip! ビューザブルは、同じドメインのページに自動的にトラッキングコードが設置できるように、ドメインの共通領域にトラッキングコードを設置することをお勧めします。

```

1 <script type="text/javascript">
2 (function(w, d, a){
3   w.__beusablerumclient__ = {
4     load : function(src){
5       var b = d.createElement("script");
6       b.src = src; b.async=true; b.type = "text/javascript";
    
```

コピー

一覧へ

2. ページ登録 > ページ登録完了

登録されたページはトラッキングコードを設置することで、データの分析を実施することができます。

お手順をおかけしますが、必ず設置作業を進めて下さい!

ページ登録とともに発行されたトラッキングコードを、下記のように該当ページの</body>タグの前に貼り付けて下さい!

以上でページ登録およびデータ分析のための準備がすべて完了しました。

```
<!-- [D] FOOTER -->
<script src="/js/slide_v2.js"></script>
</div>
```

```
<script type="text/javascript">
(function(w, d, a){
  w.__beusablerumclient__ = {
    load : function(src){
      var b = d.createElement("script");
      b.src = src; b.async=true; b.type = "text/javascript";
      d.getElementsByTagName("head")[0].appendChild(b);
    }
  };w.__beusablerumclient__.load(a);
})(window, document, '//rum.beusable.net/script/b160804e144953u53/856b0b83b6');
</script>
```

Insert

```
</body>
</html>
```

Tip: ビューザブルでは、同じドメインのページに自動的にトラッキングコードが設置できるように、ドメインの共通領域にトラッキングコードを設置することをお勧めします。

Dive into data and UX
With Beusable

All-in-One
Data Analytics Tool

Thank you

www.beusable.co.jp | www.beusable.net

東京都新宿区高田馬場1丁目28-10
バンフォーレ三慶ビル4階

